

2023年10月24日

報道関係 各位

住友不動産株式会社

イノベーションを生み出す“場”の創出で、次世代を担う起業家を支援

スタートアップフレンドリーな家具付きインキュベーションオフィス

新ブランド「GROWTH(グロース)」を拡大展開

2024年春迄に、東京都心7施設、関西2施設(大阪・京都)の全9施設を開業

住友不動産株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:仁島 浩順)は、東京で230棟超のオフィスを運営しておりますが、次世代を担うスタートアップ企業や起業家を支援するため、新たなブランド「GROWTH(グロース)」を立ち上げ、スタートアップフレンドリーなオフィスを2024年春までに東京都心7施設および関西圏2施設(大阪・京都)の合計9施設に拡大展開いたしますので、お知らせいたします。

当社が展開する新ブランド「GROWTH」は、比較的資金力が劣るシードステージや創業期のスタートアップ企業を支援するため、通常より敷金を抑え、即入居可能な通信環境完備の家具付きセットアップオフィスをご用意することで初期費用を低減いたします。また席単位から個室まで成長段階に合わせた賃貸契約をフレキシブルに対応いたします。(※法人登記も可能)

また、国内ベンチャーキャピタル各社と共同運営する一部施設では、現役ベンチャー・キャピタリストによる人材採用や事業成長、資金調達などの助言サポートを受けられるとともに、起業家同士のコミュニティ作りを促進する交流会の開催などを通じて、スタートアップ企業の成長を後押しします。

当社は、こうしたオフィス環境の提供に加え、当社オフィスビルテナントや取引先の大企業、金融機関などを招いたピッチイベントを定期的で開催することでスタートアップ企業と大企業のビジネスマッチングの機会を創出、顧客・販路の開拓を支援いたします。今後、当社は事業の強みを活かして、スタートアップ企業が抱える課題解決によってスタートアップ・エコシステム強化に貢献してまいります。

 GROWTH

ロゴデザイン



グロース六本木 内観

<報道関係者お問い合わせ先>

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042

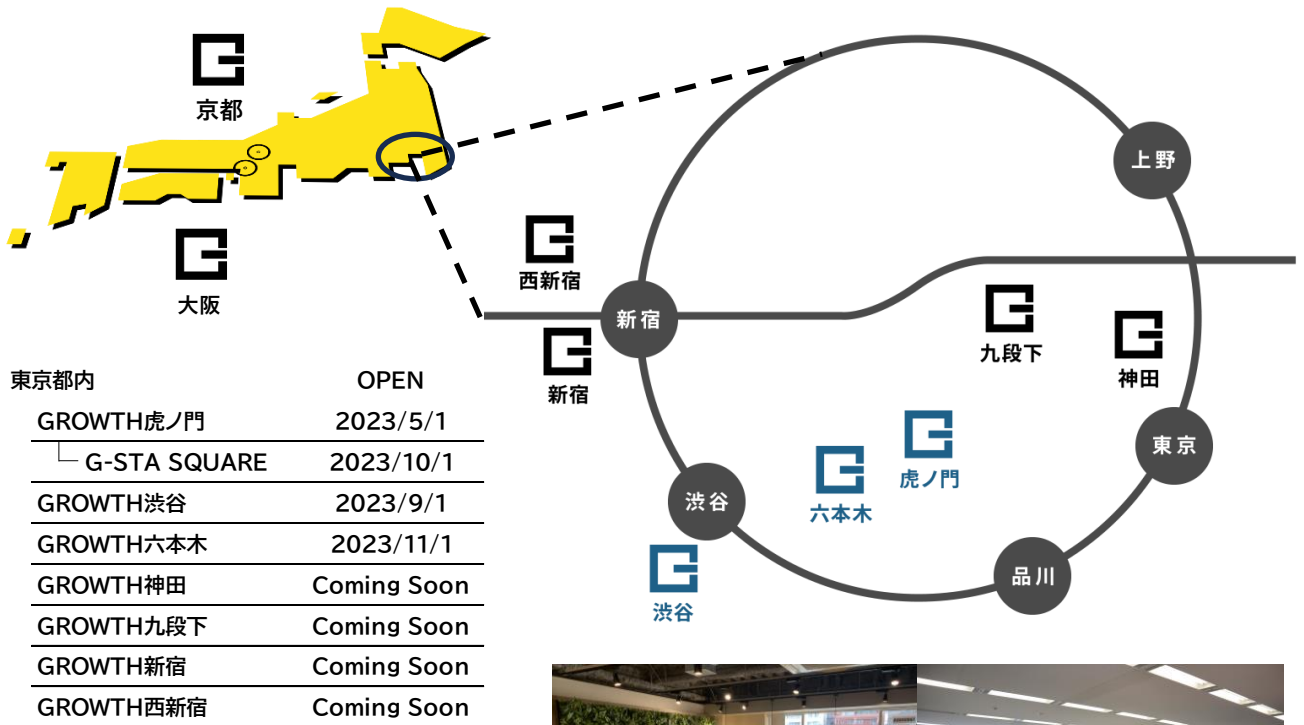
<本件に関する企業お問い合わせ先>

住友不動産株式会社 ビル事業本部 グロースサポート事業部

MAIL: growthsupport@j.sumitomo-rd.co.jp

■ 「GROWTH」シリーズ展開について

自社運営のビル230棟超に加え、東京都心各所で進める再開発エリア内にビルを多数保有する当社は、将来的に開発で解体予定のビルを暫定利用するなどして「GROWTH」シリーズを展開いたします。これにより、転貸型のシェアオフィスよりも価格競争力が強く、スタートアップフレンドリーなオフィスを提供することが可能となりました。東京都心に7施設、大阪と京都2施設の合計9施設の開業を計画中ですが、既に稼働中の虎ノ門、渋谷は好評を博しており、最終的には200社超のスタートアップ企業の入居が見込まれます。



東京都内	OPEN
GROWTH虎ノ門	2023/5/1
G-STASQUARE	2023/10/1
GROWTH渋谷	2023/9/1
GROWTH六本木	2023/11/1
GROWTH神田	Coming Soon
GROWTH九段下	Coming Soon
GROWTH新宿	Coming Soon
GROWTH西新宿	Coming Soon
大阪	
GROWTH中之島	Coming Soon
京都	
GROWTH京都	Coming Soon

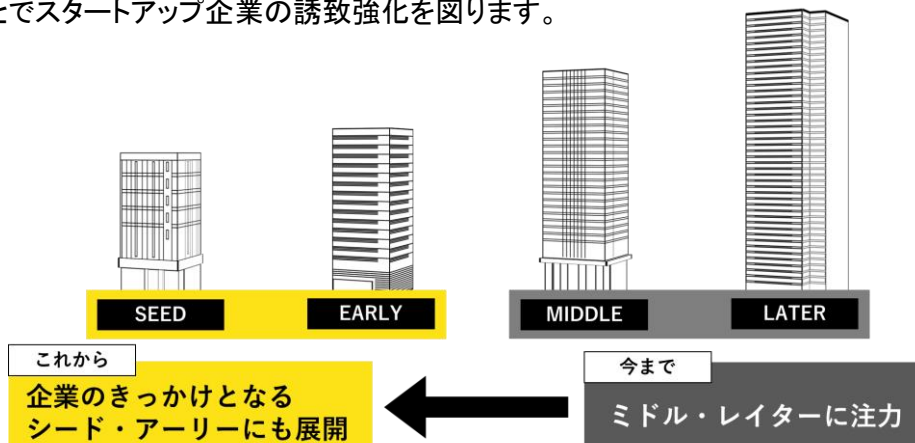


グロース渋谷 内観

グロース虎ノ門 内観

■ スタートアップ企業の誘致強化

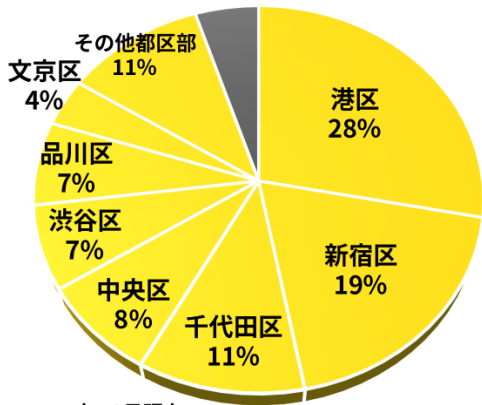
政府やベンチャーキャピタルなどの貢献でスタートアップに対する金融面の整備が進んだ一方、不動産面でのスタートアップ・エコシステム構築は未だ道半ばです。当社はこれまでミドル・レイターの企業誘致は行っていましたが、今般、スタートアップの大部分を占めるアーリー・シードにも入居しやすいオフィスを展開することでスタートアップ企業の誘致強化を図ります。



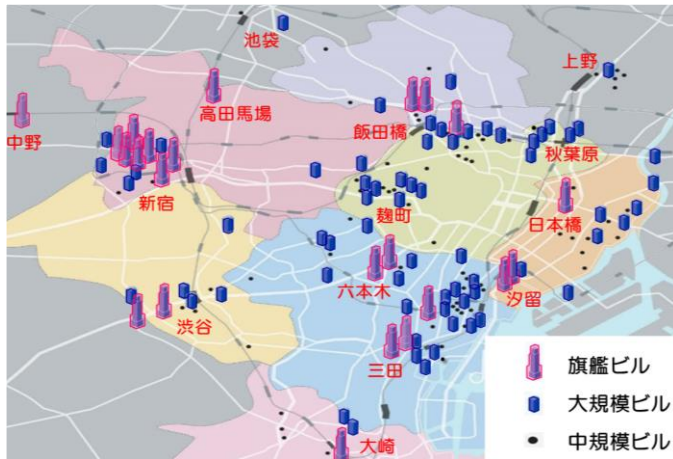
■ 住友不動産の強みを活かしたスタートアップ・エコシステムの強化

当社は、東京で230棟超のオフィスビルを運営しておりますが、主に都心7区※に集中して立地や規模、価格帯などのバリエーションに富んだポートフォリオを築いております。製造業（メーカー）、金融、IT・情報通信、サービス業など様々な業種にわたる約1800社のテナントが入居しており、その中には成長基盤と資金を確保したシリーズB以上のベンチャー企業も数多く入居しています。

住友不動産のポートフォリオ



※2023年10月現在



■ ビジネスマッチングで、スタートアップの悩みのタネである顧客・販路の開拓を支援

当社は、スタートアップ企業とベンチャーキャピタルや当社テナント企業・取引先とのビジネスマッチングの場として、本年1月より「虎ノ門サミット」と銘打ったピッチイベントを住友不動産虎ノ門タワー内、ベルサール虎ノ門にて開催してまいりました。毎回10社のスタートアップ企業経営者にテーマに沿った自社の展開するサービスについてプレゼンテーションをしていただきました。これまで計6回開催、毎回100社を超える企業にお集まりいただき、延べの参加は1,216名となりました。

本日、その集大成となる「住友不動産ベンチャーサミット」を開催し1,800名超の参加者にお集まりいただきました。事前に応募のあった130社から厳選した15社のスタートアップ企業の経営者が登壇、プレゼンテーションを行いました。当社は、スタートアップ企業の新技術・サービスを発信する場として、ピッチイベントを継続してまいります。

2023年スタート

第1回

不動産
建設

第2回 2023.2

HR
教育

第3回 2023.3

医療
ヘルスケア

ANDPAD bitkey safie SmartHR AcaFIE Schoo Medical Note Health Intelligence housing 助太刀 PHONE APPLI Thinkings seedtech SIGNATE Line well Yumedi FotonStandard SpiderFlax & Co. 株式会社パルティ paiza tebiki WizWe ICARE tellus Derfie

約 800社 1,200名動員

第4回 2023.4

環境
金融

第5回 2023.5

広告・
エンタメ
Web3

第6回 2023.7

物流・
EC・
モビリティ

AETERLINE ENENING OFIZ Daytner OSIRO C Channel 株式会社TERRA TerraDrone TokyoRobotics nextDrive ENECHANGE Pictoria Adagio cluster STANAGE OPTIMIND Helpfeel Cop&Company, Inc. NETSITES CO., LTD. TellerNovel PRTable TECOTEC 株式会社ASF kiva

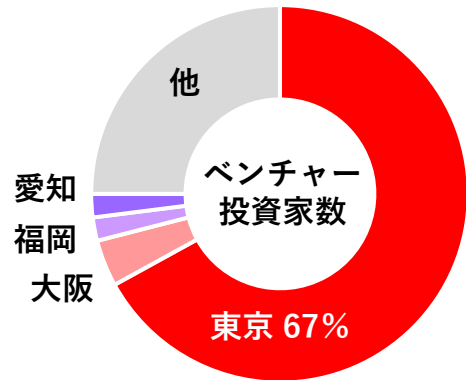
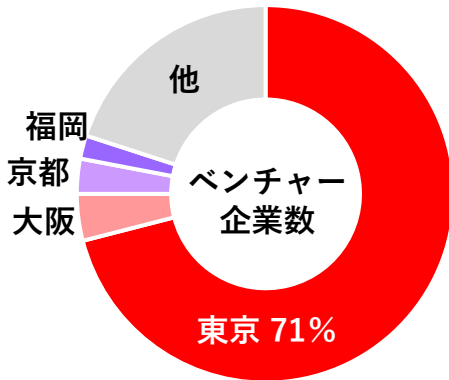


住友不動産虎ノ門タワー 外観

■ スタートアップ市場における「東京」の優位性

巨大な経済都市圏を有する東京は、国内大企業本社や大学・研究機関が他地域と比べて集積しており、スタートアップ企業に必要な人材・資金・サポートインフラが揃った都市として、次世代を担うスタートアップ企業創出の拠点都市としてのポテンシャルがあります。

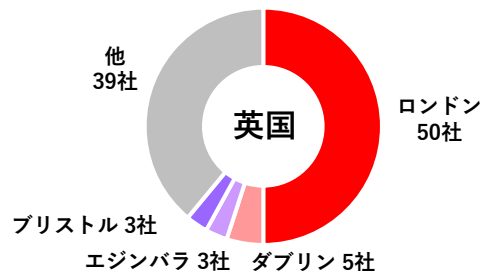
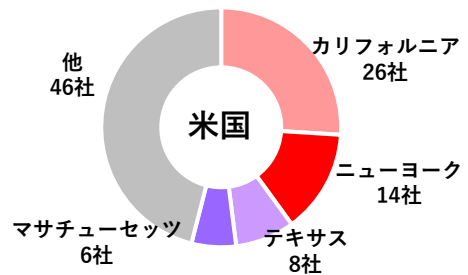
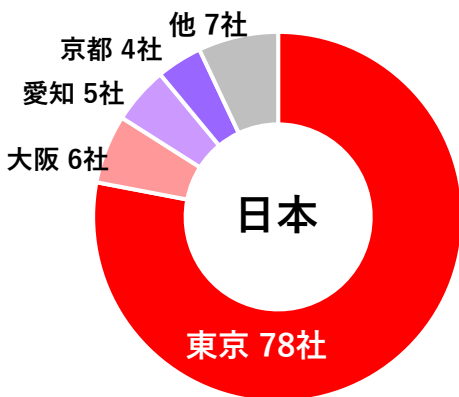
次世代企業集積



※スタートアップ情報プラットフォーム「INITIAL」のデータをもとに、当社が独自に作成
2023年10月時点、ベンチャー企業：1億超調達、継続調査中4,450社 投資家：国内VC、金融1,464社

企業集積

各国時価総額上位100社の本社所在地



(2023年7月時点)

国際競争力の低下によって“失われた30年”を経験した日本は、2022年11月、政府がスタートアップに対する重点投資を掲げて、「スタートアップ5か年計画」を策定しました。

世界の変革をリードするスタートアップ企業の創出や、イノベーションによる社会課題の解決、新規雇用創出による経済の活性化等の実現に向け、政府はスタートアップ投資を10兆円とする目標を掲げました。この目標を達成するには、行政だけでなく民間企業が主体となったスタートアップ・エコシステム拠点形成が必要不可欠です。